

AED操作方法を 講習で1年生学ぶ

桜丘高校

桜丘高校(岩田邦彦校長)の1年生は9日、同校メディアコミュニケーションセンターで、心肺蘇生(そせい)法と自動体外式除細動器(AED)の操作方法を学んだ。

同校は、昨年11月に豊橋ハートセンター(鈴木孝彦院長)から講師を招いて全職員120人が講習を受けた。今回は生徒への伝達講習も兼ねており、丸山京子保健厚生部長や米山志保里教諭が担

当した。

米山教諭は「『助けられる人』になることが目標です。しっかり学習してください」と話し、生徒はグループに分かれて人形を使って心臓マッサージなどを体験した。

続いてAEDの操作方法に移った。訓練用のAEDを音声ガイダンスに合わせて人形に装着。生徒らは想像するよりも実際に使用してみると容易に操作できることなどを知った。

講習参加者の宇野裕美さんは「説明の音声が大きく分かりやすかった。

心肺蘇生講習は5回目ですが、心臓マッサージの位置がこれまでとは変わっていることなどが分かりました」と話した。

.....

真剣な表情で講習を受ける生徒

(桜丘高校で)

